



令和6年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会
兵庫県ラウンド大会 開催要項

主催 (公財)日本バレーボール協会、加古川市バレーボール協会
共催 (一社)ジャパンバレーボールリーグ
主管 (一財)兵庫県バレーボール協会
協賛 株式会社カプコン、久光製薬株式会社、電源開発(株)、全日本空輸株式会社、中央日本土地建物グループ株式会社、丸大食品株式会社、株式会社ネイチャーズラボ、アシックスジャパン株式会社、ミズノ株式会社

1 開催趣旨 本大会は、本協会に登録する全てのチーム(中学生以上)が、1年度を通して「天皇杯」「皇后杯」の名を冠するに相応しい、日本の6人制バレーボール最高のチームとなる栄誉を競うと同時に、バレーボールの競技を通じて体力、人格、精神力の向上を目指し、また日本バレーボール界の発展と普及に寄与することを目指して開催する。

2 開催期日 令和6年7月14(日)(第1日目)
令和6年7月21(日)(第2日目)
注)①男女とも準々決勝までを1日目に実施し、2日目に準決勝・決勝を実施の予定であるが申込チーム数により変更する場合もある。
②開館時刻は9:00とする。準備が出来るまではコートに入らぬこと。

3 会場 第1日目:加古川市立総合体育館
〒675-0047 兵庫県加古川市西神吉町鼎1010
第2日目:神戸製鋼所 加古川製鉄所 加古川体育館
〒675-0131 兵庫県加古川市別府町新野辺1527

4 参加資格 令和6年度(公財)日本バレーボール協会個人登録規定により、有効に登録されたチーム及び選手で構成された中学生以上の兵庫県内のチーム。

5 代表権を得た場合の遵守事項
男子、女子共優勝チームは、滋賀県で開催される近畿ブロックラウンドに出場する権利と義務を有する。
<女子:9月28日(土)>
<男子:9月29日(日)>

6 競技規則 令和6年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
ネットの高さは、男子2m43cm、女子2m24cm。

7 大会使用球 天皇杯・皇后杯大会オリジナル球
男子:ミカサ(V300W)、女子:モルテン(V5M5000)
※上記のオリジナル球は原則として決勝戦のみ使用し、それ以外は通常のボールとする。

8 競技方法 全試合3セットマッチのトーナメント戦とする。

9 参加申込先 **MRSシステムから申込みこと。**
但し、同一チームから複数のチームが出場する場合は、1番目のチームはMRSで申し込み、**2番目以降のチームはメール又は郵送で下記に申し込むこと。**

〒651-0076
神戸市中央区吾妻通4-1-6
コムスタこうべ
(一財)兵庫県バレーボール協会 岡崎 健一郎 宛
メールアドレス: <kobevb@kpb.biglobe.ne.jp>
注)メールで送付されるチームは下記にも送付のこと。
赤井 倫大<akai_m840503@yahoo.co.jp>

10 申込期間 令和6年5月31日(金)~6月26日(水) --MRS申し込み
締め切り日 令和6年6月24日(月) --MRS以外(複数チーム申し込み時)

11 参加料 8,000円(※参加料は、下記に必ずチーム名で振込むこと。)
☆別途空調機使用料の一部負担をお願いする予定です。詳細は組合せ送付時に記載いたします。

ゆうちょ銀行 四三八支店(店番438)
普通 8189847
一般財団法人兵庫県バレーボール協会
郵便局からの場合
記号14360
番号81898471
一般財団法人兵庫県バレーボール協会

- 1 2 チーム編成 1 チームは、チームスタッフ（①部長、②監督、③コーチ、④マネージャー、⑤トレーナーを各1名）、選手18名以内とする。ただし、必要に応じてドクター、通訳1名を加えることができる。申込み後の選手エントリー変更は認められない。なお、各試合の選手14名の登録は各試合の60分前までに定められた用紙に記載し、エントリー受付係に提出する。監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は、公益財団法人日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ1～4の有資格者とする。大会参加時には、資格を証明する登録証等を携帯すること。なおスタッフの変更届は代表者会議終了時までとし、大会期間中を通してスタッフの変更は認められないので十分に注意すること。またリベロプレイヤーの登録は下記表のとおりとする。なお、選手・ベンチスタッフは複数のチームに申し込むことはできないが、男女同一校の場合、男女チームの部長の兼任は可。

チーム登録人数	リベロ登録数
12名以下	0～2名
13名	1～2名
14名	1～2名

- 1 3 抽 選 会 (一財)兵庫県バレーボール協会競技委員会にて抽選を行い、チームに連絡する。

- 1 4 開・閉会式 都合により実施しないことがある。

- 1 5 そ の 他
- (1) 監督・コーチ・マネージャーは、規定のマークを明確に判別できる位置（左胸部が望ましい）につけること。また服装は統一されていること。
 - (2) 競技中の事故及び負傷については、応急処置はするがそれ以降の責任は負わない。
また、会場および敷地内での応援者等全てのチーム関係者の事故に関しても主催者及び施設管理者は一切の責任を負わない。
 - (3) 会場内および敷地内でチームが出したゴミについてはチームが必ず持ち帰ること。
 - (4) 問い合わせは、競技委員長 赤井 倫大（携帯090-5653-2435）まで。

以上